

平成 30 年度神戸市若手農漁業者チャレンジサポート事業 実施レポート (NO.1)

団体名	有野苺部会青年部		参加人数 ※名簿別紙	10名
実施した活動	視察・研修開催	実施日 実施期間	2018年11月27日	
活動のテーマ	二郎いちご栽培の後継者として、苺の栽培技術や経営向上を図り二郎いちごの栽培に生かす。			
実施内容 ①視察先・視察内容 ②研修概要・講師	①奈良県農業研究開発センター：奈良県の品種である苺の栽培・販売状況、品種改良、品質向上について講義と圃場見学 苺生産者圃場：環境制御技術の導入、収量・品質向上を行っている圃場の見学			
実施目的	苺の他産地を視察・見学することで、栽培技術や品種改良・品質向上を学び自らの栽培に生かす。			
活動写真	 			
活動所感	奈良県の新品種の育成過程について勉強することができた。 ピーフライや底面灌水など、高機能な資材や省力化となる方法を学ぶことができ、非常に有意義であった。 また、大規模に経営している圃場を見学し、生産者との活発な意見交換もでき部会員ごとに今後の栽培や経営に役立つものが多かったと思われた。			
今後に活かしたい事	今回、視察見学をした中より、ピーフライや底面灌水など新技術や効率化を図った栽培技術や、土耕栽培から高設栽培に移行し面積を増やして法人化に成功している生産者の技術や雇用について勉強したため、今後は自らの経営に反映させらることが多くあった。			

平成 30 年度神戸市若手農漁業者チャレンジサポート事業 実施レポート (NO.2)

団体名	伊川野菜青年部		参加人数 ※名簿別紙	17名
実施した活動	視察・研修開催	実施日 実施期間	2018 年 11 月 27日	
活動のテーマ	近隣産地の農業や販売方法について			
実施内容 ①視察先・視察 内容 ②研修概要・講 師	①フレッシュグループ淡路（講師：フレッシュグループ淡路 代表 森様）若手農家同士での営業販売について ②淡路市遠田 レタス生産者（講師：北淡路農業改良普及センター・稲本様） 淡路島の農業について			
実施目的	淡路島を視察する事により近隣地区の農業について学ぶと共に遠方地からの販売方法について学ぶ事を目的とする。			
活動写真				
活動所感	①フレッシュグループ淡路 ・マイナー品目の取引先拡大のために飲食店中心に営業活動を行い、取引先からの注文に対して迅速に対応する事により、信頼を得ている点。 ・会社で調整作業や販売を行う事により、生産者の作業効率化を図っている点。 ・組織化による有利販売 ②淡路市遠田 レタス生産者： ・レタス栽培の技術継承 ・レタスのマルチ栽培の効率化による経費削減 ・淡路島の農業の現状について			
今後に 活かしたい事	・個人で対応出来ない量販店や飲食店などのニーズに対して若手生産者同士で協力し、対応する事。また、販売先との商談や調整作業に関してはJAも担える事も可能かと考える。 ・伊川谷町では販売単価や病害虫の面からレタスの作付けが少なかったが、淡路島のレタス生産方法を活用して、レタスの作付け量の増加			

平成 30 年度神戸市若手農漁業者チャレンジサポート事業 実施レポート (NO.3)

団体名	西垂水水産研究会		参加人数 ※名簿別紙	4名
実施した活動	視察・研修開催	実施日 実施期間	2019年2月14日	
活動のテーマ	日本最大の規模である豊洲市場のマーケティングリサーチ			
実施内容 ①視察先・視察 内容 ②研修概要・講 師	①豊洲市場、市場内視察（セリ）を始めとした現場見学、営業ノウハウなど ②大都魚類㈱			
実施目的	・流通ルートの認知・マーケティングリサーチを行い、消費者の求めているサカナの研究			
活動写真	 			
活動所感	私達が普段取引をしている市場とは、規模の差がありすぎて、終始圧倒されていました。その中で、氏福様をはじめ、大都魚類の方々には、市場の隅々まで教えて頂き大変勉強になることばかりでした。セリ一つにしてもマネできることから順に行い、神戸にも活気があれば良いと思う。			
今後 に 活 か し た い 事	私達は、今後も引き続き魚を供給する立場であることに変わりはないので教えて頂いた営業の仕方を守りつつ且つこれからの時代のニーズに応えるために身近なマーケティングリサーチを大切にすることで消費者との距離をもっと縮めていこうと考えています。			

平成 30 年度神戸市若手農漁業者チャレンジサポート事業 実施レポート (NO.4)

団体名	JA兵庫六甲 岩岡青年部		参加人数 ※名簿別紙	8
実施した活動	視察	実施日 実施期間	2019年 2月 19日～20日	
活動のテーマ	施設園芸先進地視察			
実施内容 ①視察先・視察 内容 ②研修概要・講 師	①ナカハラのタネ 油山試験場：品種紹介 農研機構 久留米試験農場：イチゴ生産 直売所 伊都彩葉			
実施目的	施設園芸の先進地である九州に先進地視察を行う。また種苗会社への視察も行い、品種選定での参考とする。			
活動写真				
活動所感	種苗会社にていろいろな品種・品目をみることができ、大変参考になった。 また伝統野菜の育種等もされており、非常に興味深かった。 久留米の試験場では、イチゴを中心に栽培・品種・施設の話をしていただいた。 新品種「恋みのり」は食味よく、関心が高かった。			
今後 に 活 か し たい 事	マイナー品目は販売しづらく敬遠されがちであるが、食べ方提案まで含めて挑戦してみたいという声があった。いちごの可動式高設ベンチについても導入を検討する。			

平成 30 年度神戸市若手農漁業者チャレンジサポート事業 実施レポート (NO.5)

団体名	平野青年協議会		参加人数 ※名簿別紙	10
実施した活動	視察・研修開催	実施日 実施期間	2019年 2月19日	
活動のテーマ	山元農園いちご施設の見学			
実施内容 ①視察先・視察 内容 ②研修概要・講師	① 山元農園いちご施設の見学 ② 山元農園の設立と経緯。設備の見学 講師：山元いちご農園代表取締役 岩佐 隆			
実施目的	農業用パイプハウスの最先端技術を見学。環境制御装置の導入検討。			
活動写真				
活動所感	山元いちご農園のように3ha以上の栽培施設があり、50人以上の雇用をおこなっている農業経営者が平野町にはおらず、環境制御装置については興味はあるものの実際にはここまで導入することはできない。 ただ、設備の見学をさせて頂いて圧巻であった。			
今後に 活かしたい事	様々な設備の説明を受け、今後取り入れることができることは試したい。 現在、いちご栽培をしている農家は、青年部で2名だが、規模拡大を検討。			